



## 認知症の人、ご家族が安心して暮らし続ける まちづくりを目指して

### 【認知症のひとり歩きについて】

ひとり歩きとは、認知症の人が行き先に迷ってしまい自力では解決できない状況のことをいいます。

認知症の代表的な症状として、『物事が覚えられなくなる(記憶障害)』、『現在の状況、例えば自分のいる場所・時間がはっきりしなくなる(見当識障害)』、『適切な判断ができない(判断力の低下)』といった症状があります。こういった症状により、外出中に行き先を思い出せなくなったり、自分の居場所が分からなくなったりしてしまうのです。

▽こちらをご参照ください▽

<https://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/2605/documents/hitoriaruki.pdf>

### 【行方不明となってしまった人の状況について】

ひとり歩きの結果行方不明となってしまい、横須賀市に捜索依頼があった件数は、令和4年度(6月30日現在)で7件発生しています。7件の中には、連絡から発見までに時間を要しており、命に係わるケースもあります。また、県外でみつかるといったケースもあり、1人でも多くの方に迅速に情報提供を呼びかけ、早期発見につなげる仕組みづくりが急務となっています。

### 【横須賀市の取り組みについて】

認知症の人が行方不明になってしまったときに、一刻も早くご家族の元へ帰るため、横須賀にこっと SOS ネットワーク(※1)を構築しています。

上記の状況を踏まえて、令和4年度から市公式 Twitter での配信を開始しました。あわせて、市公式 LINE 上の情報発信先に、市公式 LINE の受信設定で「高齢・介護」にチェックを入れた方を追加します(令和4年8月15日以降の発信から)。

認知症になっても安心して暮らし続けるまちづくりのために、今後もネットワーク強化に努めます。

(※1)<https://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/2610/haikaisos20160905.html>

### 【皆様のご協力をおねがいします！！】

皆様からご提供いただける情報が早期解決につながり、命が助かる場合があります。日頃から、周囲の様子に気を配る、お困りの方がいた場合に声をかけるなど、できる範囲のご協力をよろしくお願いいたします。

問い合わせ先:福祉総務課 地域力推進係 (046-822-9804)